

「今日は悲しいお知らせがあります。」

と先生が言って、**3年3組**の算数の授業が始まりました。子どもたちは、シーンとしています。

「実はね、昨日、この算数のカードをちゃんと仲間に分けておいたのに、ぐちゃぐちゃになってしまったんです。」

私は、心の中でクスッと笑いました。先生の話は続きます。

「それでね、今日は先生を助けてくれるかなあ？」（私：なかなかやるなあ。）

「ハイッ！！」

子どもたちは一斉に元気な大きな声とともに手を真っ直ぐに挙げているのです。『先生を助けるんだ！！』そんな雰囲気が教室中に満ちあふれています。いいクラスですねえ。

その後の学習も意欲的といったらありはしません。どんどんいろんなことを考えていきました。

子ども：「これとこれは同じ仲間です。どの辺も同じ長さになっています。」

先生：「なるほど。こんなふうにとどの辺も同じ長さの三角形を正三角形というんですよ。」

めでたし、めでたし。

「ユニクロに行ってきました。」

1年2組の黒板に新聞紙と子ども新聞と広告と画用紙が貼ってあります。新聞紙と広告がだいたい同じ広さ、子ども新聞と画用紙もだいたい同じ大きさです。先生が

「どれが一番大きいでしょうね。一番小さいのはどれでしょう。」

とたずねました。ハイ、ハイ、ハイ、ハイ……。みんなわかるんです。

「それでは、予想をノートに書きましょう。」パッと見た感じではわからないので予想が分かれました。

「じゃあ、確かめてみましょう。」

と先生は言って、黒板に貼ったものと同じ新聞や広告（私：なんで、同じ広告を何枚も持ってるんやろ？）をグループに配りました。いろいろ試した結果、

①はしっこをきちんと重ねると広さが比べられる。

という発見をしました。

次にでこぼこした形の紙を2枚用意して、

「これとこれはどっちが大きいかな？」

と先生が聞きました。ハイ？ハイ？……。重ねられないからです。みんな自信がなさそうです。

実はこの紙は2枚重ねになっていて、一枚目をはがすと同じ大きさのマス目が表れました。

「お〜っ！！」と子どもたち。（私：なかなかやるなあ。）

「わかったかな？」ハイ、ハイ、ハイ、ハイ、ハイ、ハイ……。！！

めでたし、めでたし。

ところで、授業のあとで聞いたのですが、あの広告はこの前のお休みの日にユニクロへ行ってもらったのだそうです。はじめは子どもたち一人ひとりに作業がさせたかったので「30枚ください。」と言ったのですが「それはちょっと…」ということで10枚になってしまったのだそうです。

この日来ていたセーターはユニクロのセーターでした。その時、買ったのかもしれないね。

いずれにしても涙ぐましい休日だったようです。